

適 応 車 種			
トヨタ	アクア(NHP10)	H23年12月~	L S G

※このキットを、トヨタ アクア以外に取り付けを行わないでください。
 ※純正ヘッドライト以外(社外ヘッドライト)に取付けた場合、灯具が熱により変形す
 ず恐れがあります。
 純正ヘッドライト以外の取付けについては、適合外のため保証対象外になります。
 ご了承の程、宜しくお願い致します。

※1.S、GはメーカーオプションでLEDライトを装着した際は、適合外になります。

ご注意

この度は、HIDシステムをお買い上げいただきましてありがとうございます。
 正しく、安全にお使いいただくため、ご使用前には、本「取付要領書」をよくお読み
 ください。また、本製品をご使用いただく間、必ずお手元に置いてご活用ください。



本製品の取付け、配線には専門の技術と経験が必要です。
 安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

仕 様

【H.I.D バルブ】

- タイプ : H9/11
- 消費電力 : 35w

※定格入力を確保できない車両への取付けは行わ
 ないでください。

【イグナイタ】

- 始動電圧 : 20~30Kv

【インバータ】

- 定格入力電圧 : DC 12v
- 定格出力 : 85v、35w

TMY CORPORATION

自動車用品部

TEL 03-3696-0620

作業を行う前には、必ず車両の電源コネクターの検電を行ってから作業を始めてください。

構 成 部 品

○セット部品

- | | | | | |
|----------------------|--|--|---|---|
| ①バルブ 2個
 | ②RG VR3
イグナイタ 2個
(RGH-CBP11)
 | ③RG VR3
インバータ 2個
(RGH-CBP10)
 | ④アクア専用
バッテリー電源ハーネスL
1個 (RGH-CBP20) (助手席側)
 | ⑤アクア専用
バッテリー電源ハーネスR
1個 (RGH-CBP21) (運転席側)
 |
| ⑥H11入力ハーネス
2個
 | ⑦リレー 2個
(RGH-CP001)
 | ⑧コルゲイトチューブ
2個
 | ⑨インシュロック
10個
 | ⑩スペアヒューズ
(15A) 1個
 |
| ⑪イグナイタステー
2個
 | ⑫インバータステー
2個
 | ⑬リレーステー
2個
 | ⑭接点グリス
(RGH-CB210) 1個
 | ⑮ボルトM6×15
8個
 |
| ⑯ボルトM6×10 2個
 | ⑰M6-20平ワッシャー 1個
 | ⑱M6フランジナット 10個
 | ⑲タッピングボルトM5×16 6個
 | ⑳M5平ワッシャー 6個
 |
| ㉑M5スプリングワッシャー 6個
 | ㉒スクリューグロメット 6個
 | | | |

▲ 安全上のご注意

※ご使用になる前に必ずお読みください。

- 1 このH.I.Dシステムは高電圧(約2万ボルト)を発生しますので取扱い(取付け)には充分ご注意ください。
取付作業を行う前に、商品(インバータ・イグナイタ・H.I.Dバルブ)の状態を点検してください。
※商品(インバータ・イグナイタ・H.I.Dバルブ)に損傷がある場合や商品を落下させた場合は直ちに作業を中止してください。
- 2 ヘッドライト点灯中や消灯直後は、手や肌などで触れたり、洗車など直接水をかけないでください。
レンズやランプボディが熱いのでヤケドや温度差によるレンズ割れの原因となります。
※洗車やヘッドライト付近に触れる場合は、十分に冷却した後、作業をおこなってください。
- 3 ヘッドライトの光軸が適正位置であるかを必ずご確認ください。
このシステムは通常のハロゲンバルブより明るさが増すため、光軸が合っていなかったり、故意に光軸を上に向けたりすると事故を誘発する恐れがあります。
- 4 目が痛くなったり、視力障害の原因となります。
点灯中の光を間近で見つめないでください。
- 5 感電の恐れがありますので、バルブを接続しない状態で電源を入れないでください。
H.I.Dバルブをイグナイタへ接続しない状態で、ヘッドライトスイッチをオンにすると接続端子部に高電圧が発生し、感電する恐れがあります。
また、この状態でヘッドライトスイッチをオフにしても高電圧が残留し、感電する恐れがあります。

使用上のご注意

- 1 停車中(信号待ちなど)の点灯/消灯は頻繁に行わないでください。
点灯/消灯をくり返すことによりバルブ内部の電極が磨耗し短寿命や不点灯など、システムがトラブルを起す原因となります。
注) ヘッドライトスイッチの点灯/消灯を短い間隔でくり返すと点灯しなくなる場合があります。
これは、バラストの安全装置が作動して起こるもので故障ではありません。
この症状がでた場合、数秒間隔を置いてから再点灯を行ってください。(バラスト内の残留電気が抜けるまで起動しません。)
- 2 下記症状は使用環境や状況によって発生するもので製品不良によるものではありません。
この症状はバラストの昇圧差やバラストの個体差による症状でクレームの対象外となりますので、ご理解の上ご使用ください。
1) 点灯直後や再点灯時に約10~20秒間、赤味を帯びた色や青白い色など、通常の点灯色にならないことがあります。
2) 左右のヘッドライトが同時に点灯しないことがあります。
3) 点灯時左右の照射光が異なる場合がありますが、これは商品の個体差によるものでクレームの対象外ですので、ご理解の上ご使用ください。約100時間ほどご使用していただくとバルブの色が安定してきます。
- 3 一部の車両に於いて球切れモニターが点灯する場合があります。
この症状は、車両側のヘッドライト電気制御系統とH.I.Dシステムの相性により発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 4 改造、分解等は絶対に行わないでください。
この商品は、精密な電子回路の集合体です。システムが作動中高電圧が発生しますので、インバータ・イグナイタ・H.I.Dバルブ等は絶対に改造・分解は行わないでください。また、改造・分解・不当な修理に起因して生じた故障および損傷に於いては、製品保証の対象外となりますのでご了承ください。

取扱(取付)上のご注意

◇注意事項◇

装着作業を行う際は以下の項目を必ずお守りください。

※以下の項目をお守りいただけずに発生したトラブルに関してはクレームとしてはお受できませんので予めご了承ください。

◎バルブに取付作業を行う前に取付部の奥行きの測定を行ってください。

本製品はトヨタ アクア用としてH11バルブを交換することを想定しておりますが、念のため、バルブ形状の確認をお願い致します。

※奥行き測定方法は、ノギスなどでバルブ取付面を基準面とし、そこからシェードやレンズまでの距離を測定してください。

●H11タイプ・・・測定距離が53 mm以上

であれば問題ありませんが、上記寸法以下の場合は、装着作業を中止してください。

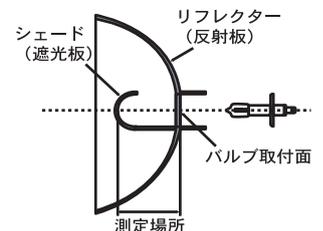
◎バルブが装着し難い場合は、無理をせずにヘッドライトを外して装着してください。

◎イグナイタ・インバータの取扱いは慎重に行ってください。

※精密な電子回路の集合体です。落としたり、配線を引っ張ったりしないでください。システムが作動していると高電圧が発生しておりますので装着・点検作業を行う際は必ずバッテリー端子を取外した状態で行ってください。また、イグナイタ・インバータは水のかかりにくいエンジンルーム内へ確実に固定してください。

本製品は、始動時に約20,000Vの高電圧を起動させるため、ノイズが発生する場合があります。車両への取付け位置によっては、ノイズの影響によりラジオ等にノイズが入る場合があります。

◎本製品と電流・電圧センサー機能が搭載されている盗難警報装置を同時装着を行うと誤作動を起こす場合があります。



●おかしいな？と思ったら！！

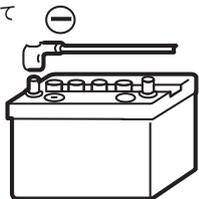
？ **ご使用中に不点灯が発生した場合、下記手順の簡易点検を行ってください。**

- 1) 速やかに車両を安全な場所へ移動してください。
- 2) ヘッドライトスイッチを消灯状態にし、数秒後再点灯を行ってください。
- 3) 上記作業を行っても症状が改善されない場合は、10～20分程度全ての照明スイッチ(ハザードは除く)を消灯させた後、再点灯を行ってください。

※上記点検を行って正常に戻ればバラストの安全回路が作動して発生する症状なので、そのままご使用されても問題はありません。もし、症状が改善されない場合やその他のトラブルが発生した場合は、最寄りの駐車設備のある場所へ車両を移動し速やかに、購入・取付けを行った販売店へご相談ください。

●必ず、バッテリーのマイナスケーブルを外す。

※ラジオのプリセットチューニングなど電装品のメモリーを控えておく。《車種によりバッテリーケーブルを外すと車両側の制御機能が誤作動する場合があります。詳しくは車両の取扱マニュアルをご参照ください。》



●ランプ、ホーン、ワイパー、オーディオなどの車両電装品が正常に作動するか確認する。

※取付け後の修復チェックを確実にを行う。

●ボルト、ナット、の締め付けには、寸法の合った工具を利用して確実に行う。

※締め付けトルクの指示がある部位は規定トルクで締め付ける。

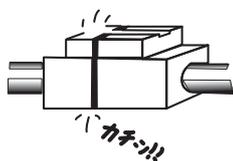
●車両のコネクターを外す際はリード線を引っ張らず、コネクター本体を持ってロックを外すこと。

※ハーネス断線を防止する。



●コネクターやターミナル端子は、確実に接続の事。

※接続不良を防止する。



●ハーネス(配線)配索の際は車両のワイヤリングハーネスに沿ってまとめたり、クランプを使用して固定しぶらぶらさせない。

※イグナイタ、バルブ間の配線を絶対に結実しないでください。



●部品の取付けや、外したフィニッシャー類を取り付ける際は、裏側のハーネスを引っかけたりかみ込んだりしないこと。

※ハーネス断線を防止する。

●車両のワイヤリングハーネスを強く引っ張らないこと。

※コネクター外れや断線を防ぐ。



●ハーネス配索後、修復前に取り付けた部品の作動チェックを行うこと。

※誤配線の防止。

H.I.Dバルブ点灯テスト要領

ご注意

点灯テスト時、取付け時にインバータ及び、バーナー先端をそれぞれプラス電位、アース部に接触、近づけたことによるインバータの地絡(ショート)故障にご注意ください。
上記、要因による故障は、保証対象となりませんのでご注意願います。

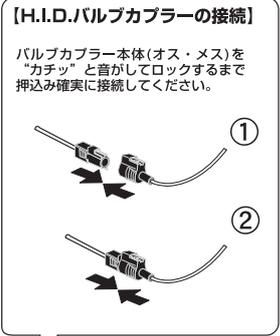
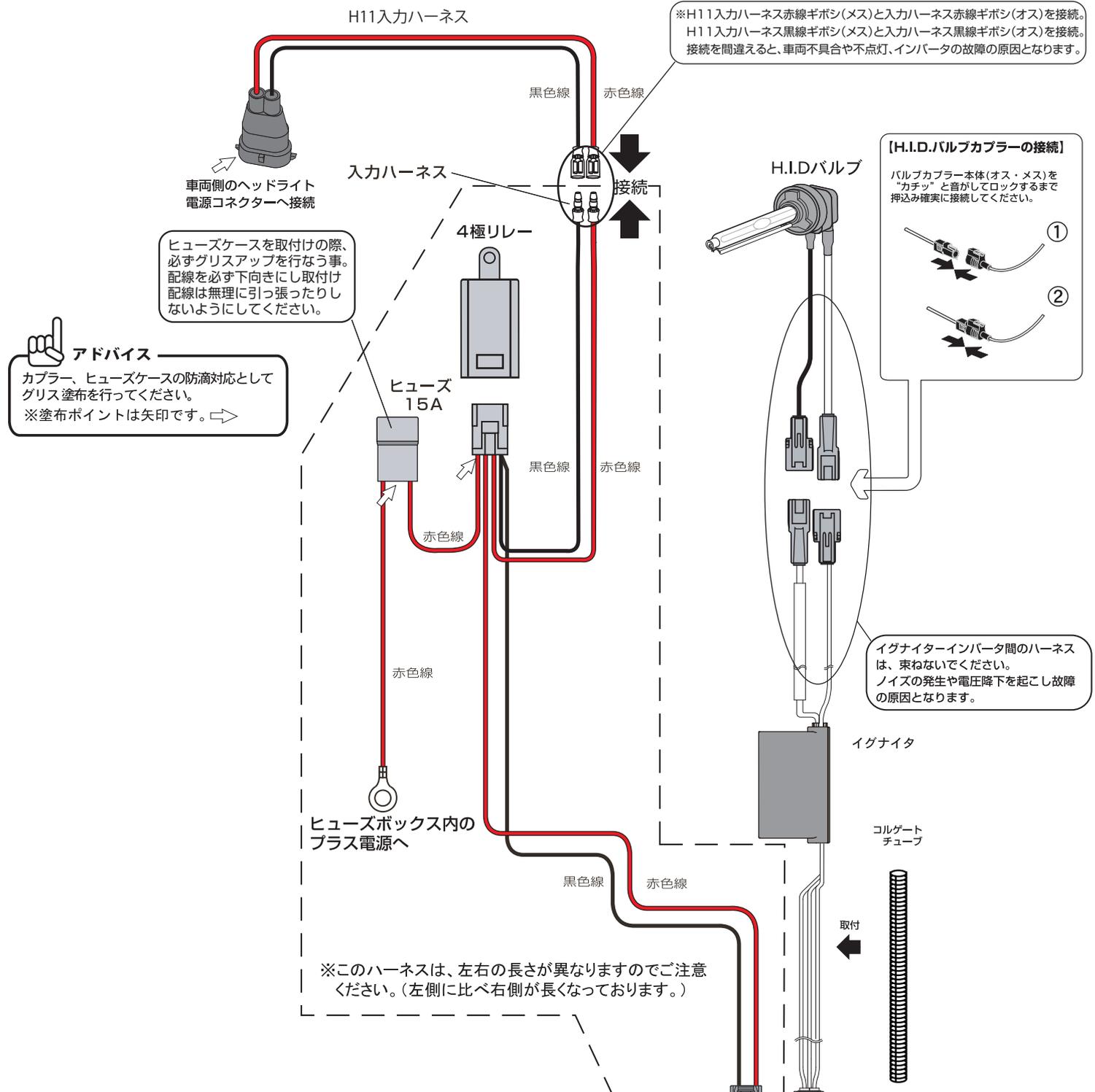
《点灯テスト手順》

- ① P4の配線方法、P4の配線図に従ってバルブを開封前にバルブ、バッテリー電源ハーネス、イグナイタインバータの配線をそれぞれ接続し、車両に仮付けしてください。この時には、バルブを開封せずにテストを行ってください。
- ② 接続終了後、バッテリー電源ハーネスの入力ハーネスの赤線ギボシ(オス)とバッテリー電源ハーネスの丸端子をバッテリーのプラス側に接続してください。
次に、バッテリー電源ハーネスの入力の黒線ギボシ(オス)をボディアース又は、バッテリーのマイナス側へ接続してください。
- ③ 点灯、作動に問題がなければ点灯テストは終了となります。

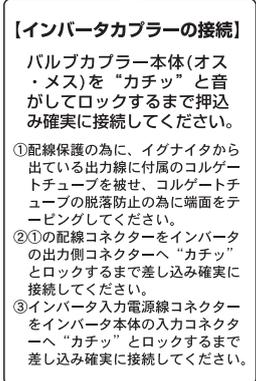
《ご注意》

- ◎ 点灯テストは、1分以内で行ってください。
- ◎ 点灯テストを行なう際、バッテリー電源ハーネスの入力ハーネスの接続間違いに注意し、作業を行なってください。接続間違いを行なうと、インバータ故障の原因となります。
- ◎ 装着前のテストを怠りケースの封印を開封した場合、及び作業中に発生した破損等はクレームの対象外となりますのでご了承ください。
- ◎ 破損や作動不良の原因となりますので、インバータケースにバッテリーの**プラス電位**が触れないようにご注意ください。
- ◎ 点灯テストの際、バーナー先端をアース部(車両シャーシ、バッテリーマイナス)に近付けた状態で点灯を行いますとインバータの故障の原因となります。

△ 取付(システム)概要・接続構成図



イグナイターインバータ間のハーネスは、束ねないでください。ノイズの発生や電圧降下を起こし故障の原因となります。



アドバイス

カプラー、ヒューズケースの防滴対応としてグリス塗布を行ってください。
※塗布ポイントは矢印です。⇒

ヒューズケースを取付けの際、必ずグリスアップを行なう事。配線を必ず下向きにし取付け配線は無理に引っ張ったりしないようにしてください。

トラブルシューティング

- ◎全く点灯しない
- ヘッドランプスイッチはONになっていますか? **NO** → ヘッドランプスイッチをONにしてください。
 - 各コネクタは確実に接続されていますか? **NO** → コネクタを確実に接続してください。
 - ハーネスの接続間違えはありませんか? **NO** → P4取付概要、配線構成図を参照し、確認してください。
 - ヒューズは切れていませんか? **NO** → 新品の15A ヒューズと交換してください。
- HIDシステムに異常が発生していますので取付を行った販売店(発売元)で点検をお受けください。
- ◎片側が点灯しない
- 各コネクタは確実に接続されていますか? **NO** → コネクタを確実に接続してください。
 - 点灯するライト側のインバータ・イグナイタを点灯しない側へ付け替えてください。 **NO** → バルブにトラブルが発生しています。(販売店にて点検を受けてください。)
- 片側のHIDシステムに異常が発生していますので取付を行った販売店(発売元)で点検をお受けください。

《取付け手順》

1、取付け前の注意点

本製品を取付ける際、必ず、ヘッドライトスイッチがOFFになっている事を確認の上、作業を行ってください。

HIDシステムの取り付けの際、ヘッドライトユニットを装着したまま、取付けが行えますが、バルブ装着が困難な場合、バンパー、ヘッドライトを外し作業を行ってください。

※バンパー、ヘッドライトを外す場合、サービスマニュアルを参照の上、作業を行ってください。

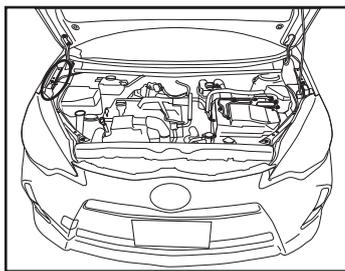
2、運転席側

2-1

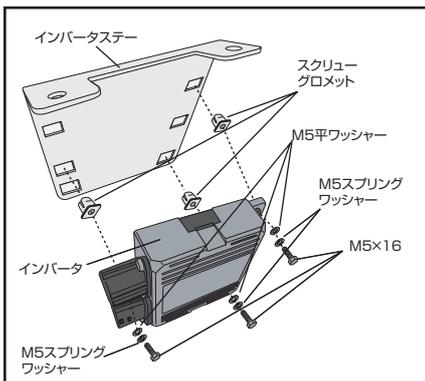
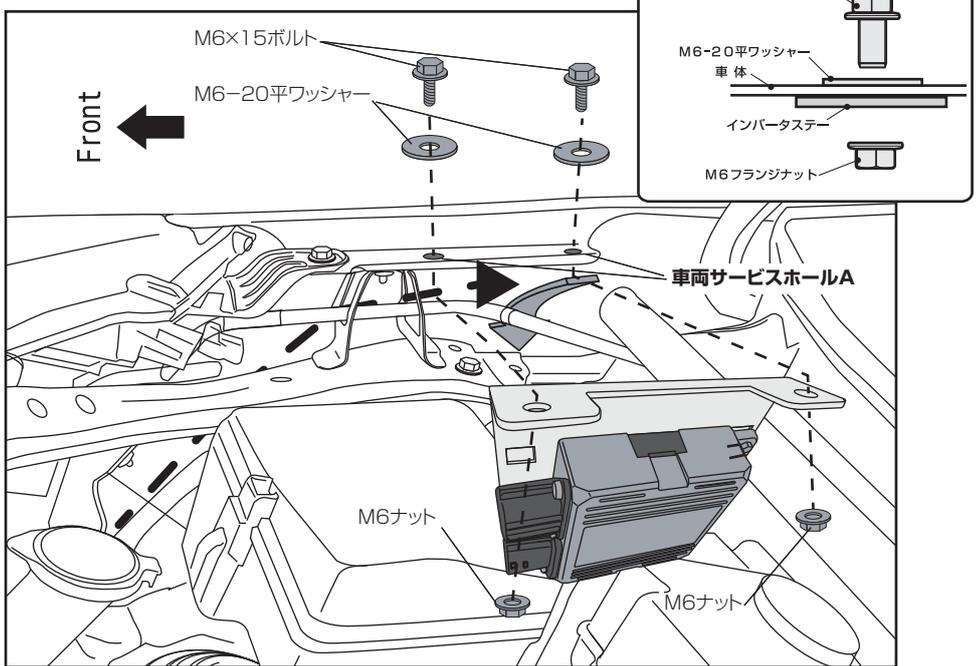
ポイント インバータを装着する時、インバータへ接続するハーネスをヘッドライト裏からフェンダー側へ(矢印点線)通し、インバータへ接続してください。

インバータステーに付属品のスクリューグロメットを取付け、ボルトM5×16、M5スプリングワッシャー、M5平ワッシャーを使い、インバータを固定してください。

インバータステーを車両サービスホールAを使い付属のM6×15ボルト、M6-20平ワッシャー、M6ナット各1個を使い、インバータステーを車両へ固定してください。



・エンジンルーム向かって左奥の図



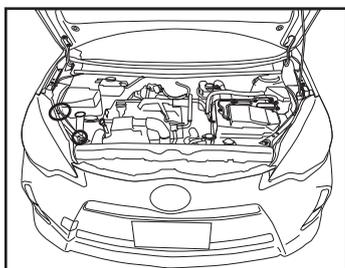
2-2

イグニタステーにイグニタを下図の様に付属のインシュロックを使い、ステーに固定してください。

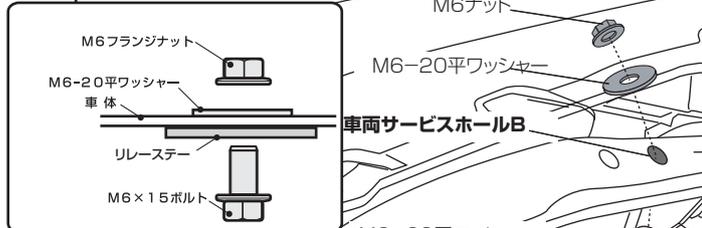
イグニタステーを車両サービスホールBを使い付属のM6×15ボルト、M6-20平ワッシャー、M6ナット各1個を使い、イグニタステーを車両へ固定してください。

リレーステーに付属のM6×10ボルト、M6ナットを各1個使い、リレーを固定してください。

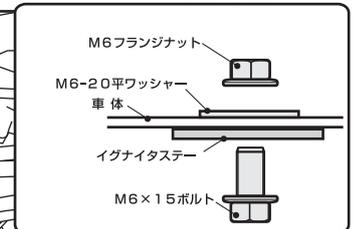
リレーステーを車両サービスホールCを使い、付属のM6×15、M6-20平ワッシャー、M6ナットを使い、リレーステーを車両へ固定してください。



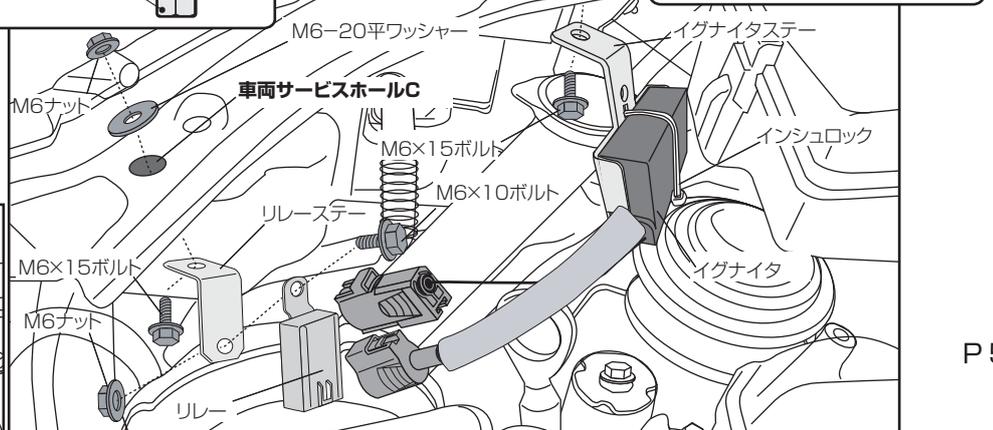
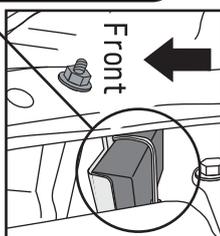
リレーステー取付け詳細



イグニタステー取付け詳細



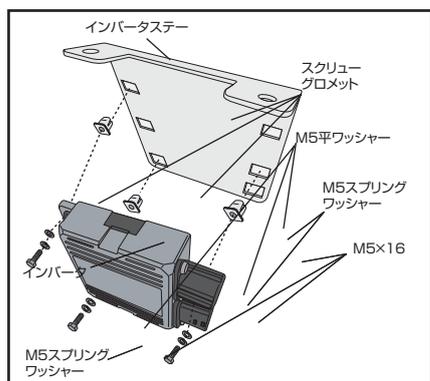
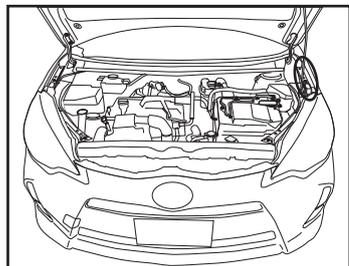
イグニタステーを固定する際、図を参照し、ヘッドライト後方と平行になる様にステーの位置を合わせ固定すると光軸調整の際、邪魔になりません。



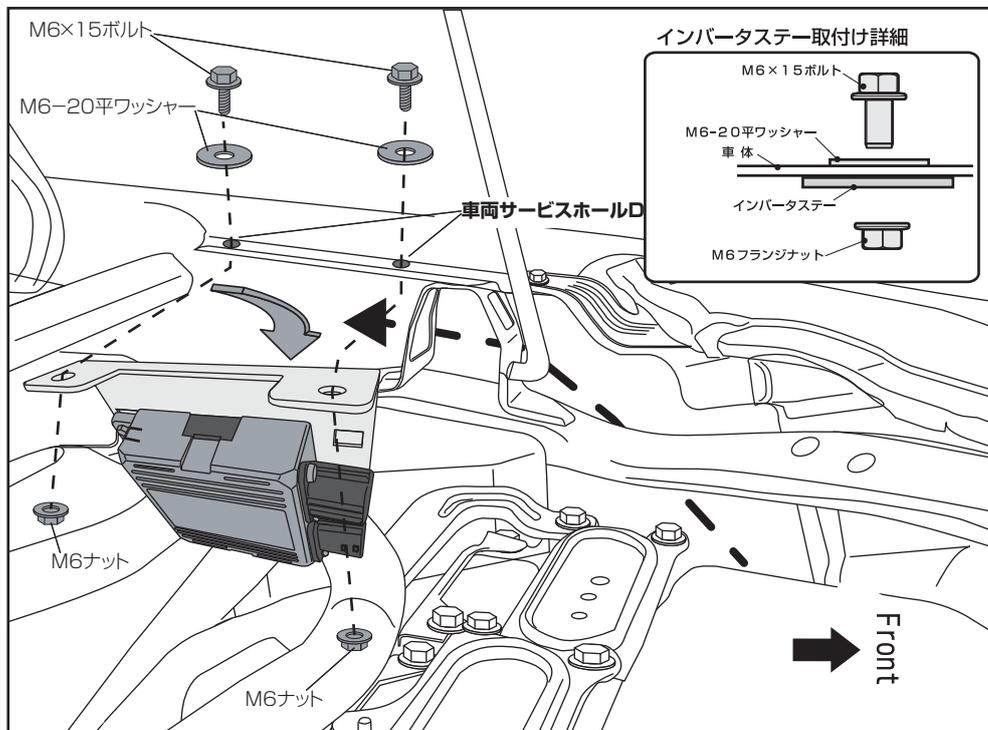
3、助手席側

3-1

ポイント インバータを装着する時、インバータへ接続するハーネスをヘッドライト裏からフェンダー側へ(矢印点線)通し、インバータへ接続してください。
 インバータステーに付属品のスクリューグロメットを取付け、ボルトM5×16、M5スプリングワッシャー、M5平ワッシャーを使い、インバータを固定してください。
 インバータステーを車両サービスホールDを使い付属のM6×15ボルト、M6-20平ワッシャー、M6ナット各1個を使い、インバータステーを車両へ固定してください。

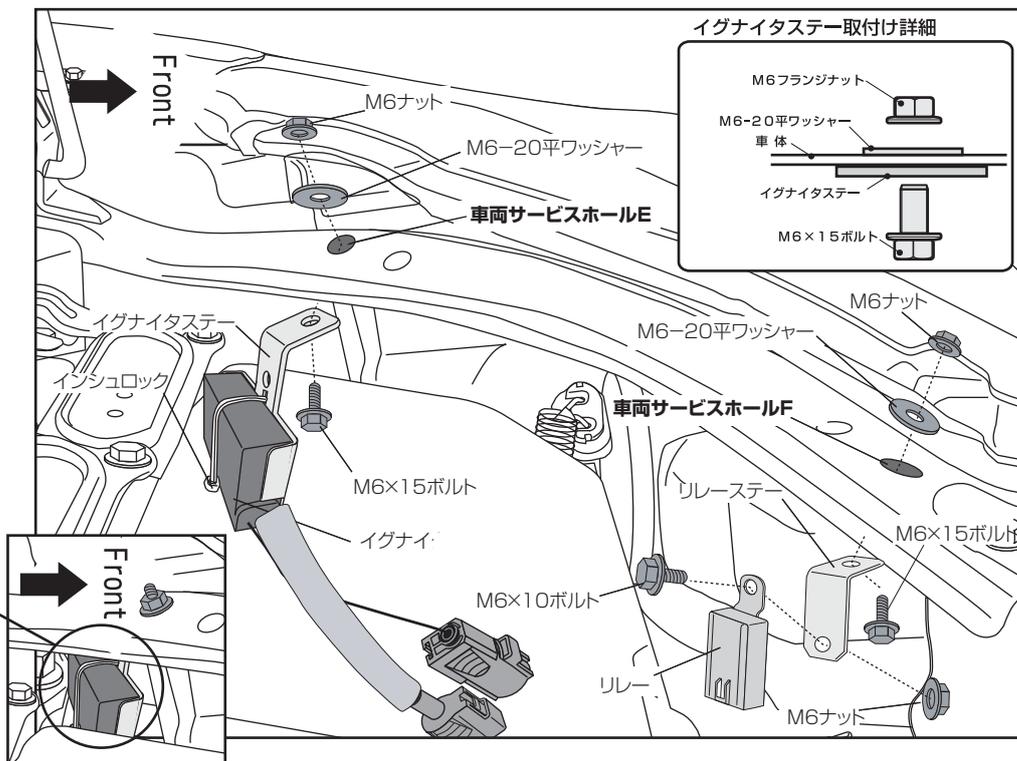
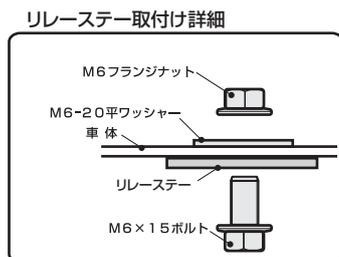
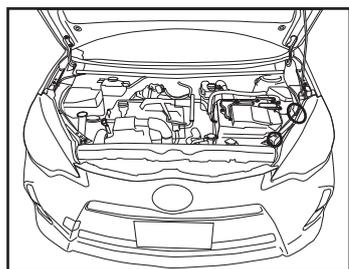


・エンジンルーム向かって右奥の図



3-2

イグニタステーにイグニタを下図の様に付属のインシュロックを使い、ステーに固定してください。
 イグニタステーを車両サービスホールEを使い付属のM6×15ボルト、M6-20平ワッシャー、M6ナット各1個を使い、イグニタステーを車両へ固定してください。
 リレーステーに付属のM6×10ボルト、M6ナットを各1個使い、リレーを固定してください。
 リレーステーを車両サービスホールFを使い、付属のM6×15、M6-20平ワッシャー、M6ナットを使い、リレーステーを車両へ固定してください。



イグニタステーを固定する際、図を参照し、ヘッドライト後方と平行になる様にステーの位置を合わせ固定すると光軸調整の際、邪魔になりません。

【コネクター接続手順】次ページご参照の上、配線を接続してください。

◇H.I.Dバルブ⇄イグナイタ間◇イグナイタ-バルブ間のハーネスは束ねないでください。

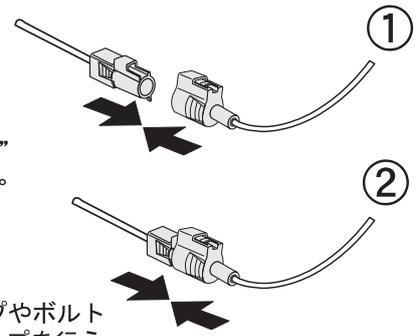
コネクター本体(オス・メス)を‘カチ’とロックするまで押し込み確実に接続してください。

《配線の接続》

◇イグナイタ⇄インバータ間◇

- ①インバータ・イグナイタ間のカプラーをはずした場合は、確実にコネクターを”カチッ”とロックするまで差込、正しくゴムパッキンを取付けネジで金具を固定してください。
※正しく接続されていないと製品不具合の原因になります。
- ②インバータ電源線の2極コネクターをインバータ入力側へ接続してください。”カチッ”とロックするまで差込、確実に接続してください。※注意1
- ③バルブ・イグナイタ、インバータ・電源線の順に配線を接続してください。

注意1 リレー、ヒューズケースは必ず、ハーネスが下側に向くように、タイラップやボルトで固定してください。カプラー部に必ずグリスアップを行う事。グリスアップを行う事によりカプラー部の防滴対策、端子防錆対策になります。
リレー、ヒューズケースは、車体の高温になる場所や水などがかかり易い場所を避け取付けてください。



4、配線方法

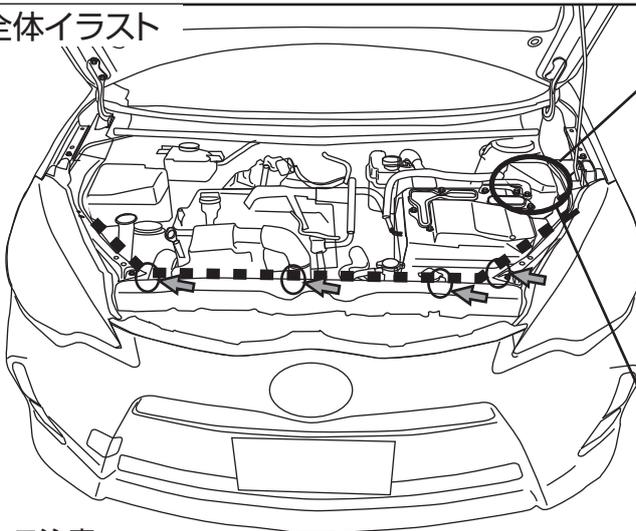
4-1

バッテリー電源ハーネスR(運転席側)、L(助手席側)を使い、車両コネクターにバッテリー電源ハーネスのコネクターを接続します。(P4配線図 参照)

バッテリー電源ハーネスR(運転席側)はヒューズボックスBまでの配線をフロントから配線を通してください。

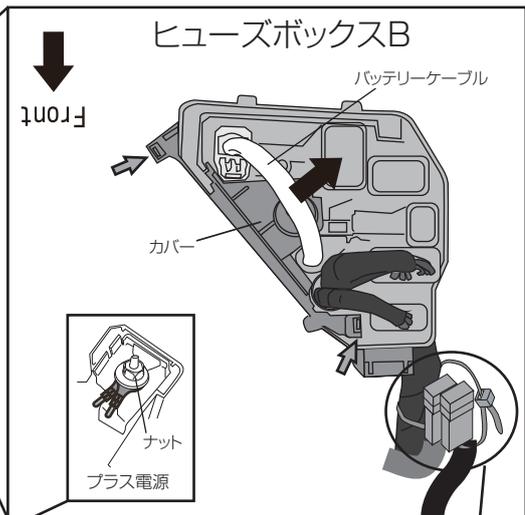
ハーネスは、車両ハーネス、サービスホールに付属のインシュロックを使い、ハーネスを固定してください。(車両全体イラスト矢印4カ所)

車両全体イラスト



ご注意

プラス電源は、常時12Vが通電しております。
他の電位に接触させないように注意し、作業を行なってください。
左右の電源ハーネスの丸端子を共締めする際、重ねた丸端子を図の様に、ナット中心と極端にずれないように固定してください。
ナットに固定した電源ハーネスは、車両側プラス電源線と同じ方向に通し、取外したカバーを元に戻してください。



左右の電源ハーネスのヒューズは、この部分にハーネスが下になる様に付属のインシュロックで固定してください。

4-2

エンジンルームヒューズボックスB内のカバーを2カ所のツメ(矢印)を解除しカバーを外してください。

カバーを外すとプラス電源があります。カバーを外す際、白線のバッテリーケーブルが干渉するので、黒矢印方向へ少し押し、カバーを外して下さい。

このプラス電源のナットを外しバッテリー電源ハーネス赤線(丸端子)を共締めしてください。

※プラス電源のボルトを緩めるとナビ、オーディオのメモリーが消えてしまう場合があります。

ポイント

※バッテリー電源ハーネスをバッテリーまで仮で取り回し、余った配線を長さを調整し付属のインシュロックを使い固定すると配線をきれいに設置できます。

取付け作業が終わりましたら、正常に作動するか点灯確認を行ない、必ず、光軸調整を行なってください。
問題が無ければ、作業は終了です。取外した部品などがありましたら元の状態に戻してください。